

生産性向上プロジェクト会議をモデル事業地で開催

【愛知森林管理所】

11月2日、生産性向上プロジェクト会議を、設楽町段戸国有林のモデル事業地において開催しました。

担当者から、事業概要および事業実行前の会議で出された改善事項である定性間伐と列状間伐毎の生産性目標の算出について、実行事業体の新城森林組合より現場で検討・改善した森林作業道路網線形等について説明を受け、続いて、実際に行っている作業システムや使用している高性能林業機械の説明を受けながら、集造材・玉切・運材の一連の作業を見学しました。



高性能林業機械による一連の作業を見学

今回の会議は多方面(愛知県林業関係機関、名古屋大学、設楽町、国土防災技術(株)名古屋支店、新城森林組合、丸兼林業(有)、(株)緑豊、関東局天竜森林管理署、中部森林管理局)からの参加があり、意見交換では、国土防災技術(株)から無人航空機の空撮を活用した、本数抽出精度検証の事例収集と進捗管理の可能性の検討、名古屋大学からは森林情報解析等の説明があり、その他にも様々な質問や意見が出されました。

今年度の愛知所の生産性向上プロジェクトは、林業事業者へ広げていくことを目的としているところですが、今回参加した事業者から、機械や設備、人員配置の工夫点など、多くの意見や感想が出され、事業者間の刺激になったものと思います。